

CASBEE-新築(簡易版)2010年追補版Ver			欄に数値またはコメントを記入		■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版) 2010年追補版		■評価ソフト: CASBEE-NCb_2010bpi&bei(v		
上田コールド米子物流センター新築工事									
スコアシート			実施設計段階						
配慮項目			環境配慮設計の概要記入欄		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
					評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質									2.6
Q1 室内環境						0.32			3.1
1 音環境					2.6	0.15	-	-	2.6
1.1 騒音					3.0	0.40	-	-	
1 室内騒音レベル		3.0			1.00	3.0	-		
2 設備騒音対策		-			-	-	-		
1.2 遮音					3.0	0.40	-	-	
1 開口部遮音性能		3.0			0.60	3.0	-		
2 界壁遮音性能		3.0			0.40	3.0	-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0			-	3.0	-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0			-	3.0	-		
1.3 吸音					1.0	0.20	3.0	-	
2 温熱環境							2.7	0.35	
2.1 室温制御			ゾーン別に冷房・暖房の選択可能		3.3	0.50	-	-	
1 室温		3.0			0.38	3.0	-		
2 負荷変動・追従制御性		-			-	-	-		
3 外皮性能		3.0			0.25	3.0	-		
4 ゾーン別制御性		4.0			0.38	-	-		
5 温度・湿度制御		-			-	-	-		
6 個別制御		-			-	-	-		
7 時間外空調に対する配慮		-			-	-	-		
8 監視システム		-			-	-	-		
2.2 湿度制御					1.0	0.20	3.0	-	
2.3 空調方式			3.0	0.30	3.0	-			
3 光・視環境					3.0	0.25	-	-	3.0
3.1 屋光利用					3.0	0.30	-	-	
1 屋光率		3.0			0.60	3.0	-		
2 方位別開口		-			-	3.0	-		
3 屋光利用設備		3.0			0.40	3.0	-		
3.2 グレア対策					3.0	0.30	-	-	
1 照明器具のグレア		-			-	-	-		
2 屋光制御		3.0			1.00	3.0	-		
3 映り込み対策		-			-	-	-		
3.3 照度					3.0	0.15	3.0	-	
3.4 照明制御					3.0	0.25	3.0	-	
4 空気質環境					4.2	0.25	-	-	4.2
4.1 発生源対策			F☆☆☆☆を使用		5.0	0.50	-	-	
1 化学汚染物質		5.0			1.00	3.0	-		
2 アスベスト対策		-			-	-	-		
3 ダニ・カビ等		-			-	-	-		
4 レジオネラ対策		-			-	-	-		
4.2 換気					3.0	0.30	-	-	
1 換気量		3.0			0.33	3.0	-		
2 自然換気性能		3.0			0.33	3.0	-		
3 取り入れ外気への配慮		3.0			0.33	3.0	-		
4 給気計画		-			-	-	-		
4.3 運用管理			喫煙室が設けられている		4.0	0.20	-	-	
1 CO ₂ の監視		3.0			0.50	-	-		
2 喫煙の制御		5.0			0.50	-	-		
Q2 サービス性能					-	0.30	-	-	3.1
1 機能性					2.9	0.40	-	-	2.9
1.1 機能性・使いやすさ			天井高さ2.7m 喫煙室が設けられ、事務室の1%以上の休憩室が設けられている		2.3	0.40	-	-	
1 広さ・収納性		3.0			0.33	3.0	-		
2 高度情報通信設備対応		3.0			0.33	3.0	-		
3 バリアフリー計画		1.0			0.33	-	-		
1.2 心理性・快適性					3.6	0.30	-	-	
1 広さ感・景観		4.0			0.33	3.0	-		
2 リフレッシュスペース		4.0			0.33	-	-		
3 内装計画		3.0			0.33	-	-		
1.3 維持管理					3.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計		3.0			0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保		3.0			0.50	-	-		
3 衛生管理業務		-			-	-	-		
2 耐用性・信頼性					3.1	0.31	-	-	3.1
2.1 耐震・免震					3.0	0.48	-	-	
1 耐震性		3.0			0.80	-	-		
2 免震・制振性能		3.0			0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数			給水・排水配管にBを使用、Eは不使用		3.3	0.33	-	-	
1 躯体材料の耐用年数		3.0			0.23	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0			0.23	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0			0.09	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0			0.08	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		5.0			0.15	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0			0.23	-	-		

2.4 信頼性	1	空調・換気設備		3.0	0.19	-	-	
	2	給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
	3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
	3 対応性・更新性			3.4	0.29	-	-	
3.1 空間のゆとり	1 階高のゆとり		平均階高4.3m 壁長さ比率＝221.448m÷2214.3㎡＝0.11	4.6	0.31	-	-	
	2 空間の形状・自由さ			5.0	0.60	3.0	-	
			4.0	0.40	3.0	-		
	3.2 荷重のゆとり		3.0	0.31	3.0	-		
	3.3 設備の更新性		3.0	0.38	-	-		
	1	空調配管の更新性	3.0	0.17	-	-		
	2	給排水管の更新性	3.0	0.17	-	-		
	3	電気配線の更新性	3.0	0.11	-	-		
	4	通信配線の更新性	3.0	0.11	-	-		
	5	設備機器の更新性	3.0	0.22	-	-		
	6	バックアップスペース	3.0	0.22	-	-		
Q3 室外環境(敷地内)			—	0.38	-	-	1.9	
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0	
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0	
3 地域性・アメニティへの配慮			1.5	0.30	-	-	1.5	
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			2.0	0.50	-	-		
3.2 敷地内温熱環境の向上			1.0	0.50	-	-		
LR 建築物の環境負荷低減性			—	-	-	-	3.3	
LR1 エネルギー			—	0.40	-	-	3.9	
1 建物の熱負荷抑制			Δ PAL＝49%	4.6	0.06	-	-	4.6
2 自然エネルギー利用				3.0	0.27	-	-	3.0
2.1 自然エネルギーの直接利用			3.0	0.50	-	-		
2.2 自然エネルギーの変換利用			3.0	0.50	-	-		
3 設備システムの高効率化			ERR換算値40%	5.0	0.40	-	-	5.0
集合住宅以外への評価(ERRIによる評価)		ERR＝3.3%	5.0		-	-		
集合住宅の評価			3.6		-	-		
4 効率的運用				3.0	0.27	-	-	3.0
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-		
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-		
LR2 資源・マテリアル			—	0.30	-	-	3.0	
1 水資源保護				3.4	0.15	-	-	3.4
1.1 節水		節水コマに加えて、節水器具を用いている	4.0	0.40	-	-		
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-		
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67	-	-		
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33	-	-		
2 非再生性資源の使用量削減				2.9	0.63	-	-	2.9
2.1 材料使用量の削減		— パーティクルボード	2.0	0.07	-	-		
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.24	-	-		
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-		
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-		
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.05	-	-		
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.24	-	-		
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.2	0.22	-	-	3.2
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32	-	-		
3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.68	-	-		
1	消火剤	ハロゲン化物消火剤を使用していない	4.0	0.33	-	-		
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33	-	-		
3	冷媒		3.0	0.33	-	-		
LR3 敷地外環境			—	0.30	-	-	3.0	
1 地球温暖化への配慮				3.8	0.33	-	-	3.8
2 地域環境への配慮				2.0	0.33	-	-	2.0
2.1 大気汚染防止		評価する取組の合計3ポイント	3.0	0.25	-	-		
2.2 温熱環境悪化の改善			1.0	0.50	-	-		
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25	-	-		
1	雨水排水負荷低減		-	-	-	-		
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33	-	-		
3	交通負荷抑制		4.0	0.33	-	-		
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.33	-	-		
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-		3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止		評価する取組の合計4ポイント	3.0	0.40	-	-		
1	騒音		3.0	1.00	-	-		
2	振動		-	-	-	-		
3	悪臭		-	-	-	-		
3.2 風害・砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-		
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-		
2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-		
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-		
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-		
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		5.0	0.70	-	-		
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-		